



No.213

2023年5月15日

発行者：治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

愛知県本部

461-0004 名古屋市中区葵1-22-26

愛知民主会館内

Tel:090-9175-9598

Fax:0564-79-0561

メール

:qdcso14344

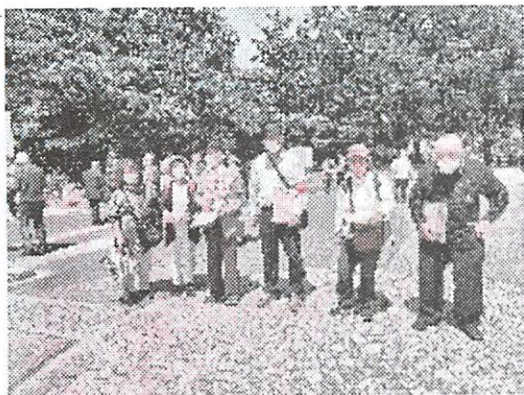
@yahoo.co.jp

私たちの運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
 - 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
 - 三、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

憲法記念日に署名統一行動に取り組む

コロナのため、長らく取り組むことができなかった署名統一行動を、5月3日の憲法記念日に、名古屋の



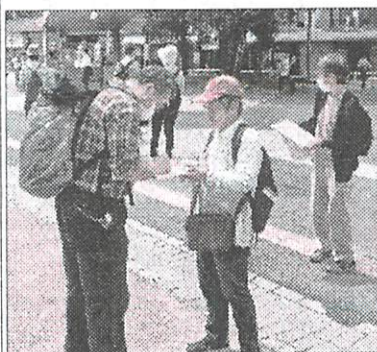
鶴舞公園に、尾北支部・一宮支部・名南支部・南東支部・名北支部・西三支部から十数名の役員・会員さんが集まり、鶴舞公会堂で開催される憲法記念集會に、

県下各地から参加される皆さんに署名の協力をお願いしました。

会場周辺には右翼の街宣車が十数台、大音量でがなりたてていましたが、署名統一行動参加者は、集會が始まるまで元氣よく行動し、署名行動終了後には、ウクライナの音楽家ナターシャさんのコンサートで始まる「憲法施行76周年記念・市民のつどい」に参加しました。

集まった署名は、5月16日の国会請願に愛知から5名の代表が持参し、国会議員事務所を訪問し、紹介議員になっていただく要請

行動に参加します。



■県同盟の現勢

5月1日 777名

【入会者】2名

西三支部1名 瀬戸支部1名

【退会者】2名

名北支部2名

「岡崎の社会進歩の歴史」 抵抗の歴史に参加した人たち

国賠同盟西三支部と日本共産党岡崎市委員会、日本共産党岡崎市後援会の3団体で小冊子「岡崎の社会進歩の歴史・抵抗の歴史」に参加した人たちの発刊に向けて準備が進んでいます。日本共産党創立101年の7月15日に発刊予定です。その一部を紹介します。

徳川家康が産声をあげた岡崎城から箕と鼻の先、岡崎市康生町515番地で、和田英一は1906年(明治39年)3月30日産声をあげた。筆者が現在住んでいる住所と同じ番地であり、和田英一との因縁を感じざるをえません。

和田英一は、愛知県立岡崎第二中学を卒業、1923年(大正12年)第八高等学校(現在の名古屋大学)に進み、マルクス主義に出会い、社会科学への造詣を深めるが、結核を病み中途退学。故郷の岡崎に戻ることになった。そして県立岡崎第二中学の先輩である近藤孝太郎の紹介で地方新聞『三河日

岡崎に社会進歩の種をまいた和田英一

岡崎の社会進歩の歴史
抵抗の歴史に参加した人たち



日本共産党岡崎市委員会
日本共産党岡崎市後援会
国賠同盟西三支部
和田英一

報』の編集者となり、近藤孝太郎とともに文化問題や政党批判など論陣を張っていた。その当時、近藤孝太

を結成。その『マルクス主義研究会』には洋画研究会『新光会』のメンバーである岡崎師範学校の生徒たちも参加し、マルクス主義の思想を急速に吸収していった。



八高時代の和田英一



左端が和田英一

警察権力によりかねてから監視されていた和田英一は、1928年(昭和3年)の三・一五弾圧で岡崎署に逮捕された。釈放後『三河日報』の編集長を務めたが、翌年の1929年(昭和4年)の四・一六弾圧で編集室から特高に引き立てられていった。その時の状況を和田英一より4才年下の印刷工場の労働者福岡寿一が書き記している。「三河日報の表のあたりで、人が人を殴(ぶ)つときの不気味な音と怒声が聞こえた。見ると、和田さんが三人の刑事のため力づくで引きずられて行くで

郎は岡崎師範学校の若い学生達と洋画研究会の会『新光会』を主宰し、芸術・文化運動に取り組んでいたが、和田英一の影響で近藤孝太郎もまた急速にマルクス主義に傾倒し、和田英一とともに『マルクス主義研究会』

はないか。

私は、夢中で工場の階段を降り、作業着のまま表へ飛び出すと、和田さんを引張っていく三人の刑事のすぐ傍まで近づき、そのまま彼らについて行つた。行くまいとする和田さんに「来んかつ」と刑事が和田さんの手を力まかせに引き寄せた。ピリッ、と合オーバーの裂ける音がした。私は、思わずその刑事を睨んだ。和田英一は、このときの検挙による拷問のため病気をこじらせ、釈放後は殆ど寝たきりとなり、翌年の1930年(昭和5年)4月23日に亡くなった。24歳の若さであった。お通夜に集まつた若い労働者たちは「組合葬」にするということで和田の屍を、みんなでつくつた赤旗に遺骸をくるんで火葬場まで担いで行つた。父

君は黙つてみていた。

和田英一の墓は、父君和田英治によって自宅から東に数百メートルの乙川沿いの満性寺に建てられた。

そして同年7月1日には



「岡崎合同労働組合」が結成され、和田英一のまいた種は、岡崎での社会進歩の歴史を前に進めることとなった。

若山晴史

岡崎師範学校における反戦活動

国家総動員反対

諸君ハ労働者ダ

資本家共ノ犬ニナツテ

諸君ヲ戦争ニ引ツパリ出ス

奴等ヲケツトバセ

国家総動員ヲブチ破レ

金持ヤ金持ノ番犬ニナツテキル

軍人共ニダマサレルナ

アイツラハ自分ガ儲ケル為ニ

俺達ヲ戦争ニ引ズリ出スノダ

労働者ハ戦争ニハ反対ダ

国家総動員ヲタタキツブセ

国家総動員ヲ打破レ

オレタチハ労働者ダ戦争ガ一体オレタチニ何ノ役ニ

立ツノダ。

タダ戦争ニ引ズリ出サレテ、ブチ殺サレ

俺達ノ家族ハソノ日カラ食フニ困ツテ終フダケダ

コンナ戦争ノ準備、国家総動員ニハ絶対反対ダ

金持ダケガシコタマ儲ケルタメニタクラム 戦争ニ

ハ反対ダ

国家総動員ヲハネ飛バセ

(反戦ビラより)

岡崎市では、近隣の矢作町、安城町などとともに、岡崎地区防衛隊本部がつくられ、本多敏樹市長が隊長になった。本部は岡崎市役所におかれ、警備隊本部が各出張所と小学校に設置された。

1929年(昭和4年)7月19日早朝、兵員が到着。正午までに高射機関銃が、市役所北側の火の見櫓、岡ビル、甲山、三島小学校などに、空へ向けて据えられた。

通信班も派遣され、防衛隊本部と監視哨、機関銃配備地区との間に軍用電話線が架設された。

午後1時、宣戦が布告され、演習は開始された。その日だけで4970人が参加した。その夜、市内は灯火管制にはいった。灯火官の夜陰にまぎれて反戦ビ

ラが撒かれた。

翌20日、岡崎師範では一学期の終了式がとりおこなわれた。待機していた警察は、出てきた生徒を調べ、何人かをその場で逮捕した。県特高課もかけつけ、この日、取り調べられた生徒の数は数十人にのぼった。

7月31日、学校は処分を発表した。

畔柳治三雄(20歳) 放校

安藤春夫(19歳) 諭旨退学

兼子忠治 (4年生) "

伊藤十一 () "

神谷光次(16歳) 無期停学

鈴木清(4年生) 一年停学

「伊藤千代子

顕彰碑を訪ねる旅」

時・6月14日(水) 15日(木)

宿・ラコ華乃井(諏訪湖

畔の宿)

参加費・1万5千円(一泊三食)

(前回1万8千円でご案内しましたが、全国旅行支援が受けられますので3千円安くなりました。それと買物クーポン2千円分がもらえます。)

往復の交通費については国賠同盟会員については各支部より援助があります。国賠同盟会員でない方も今回の旅行に参加されるにあたって入会していただければ交通費は各支部からです。申し込みは下記の申込書に記入のうえ各支部役員さん又は県本部事務局の若山までFAX願います。

参加申し込み者には後日詳しい日程表を送らせていただきます。

FAX

056 479 0561

「伊藤千代子顕彰碑を訪ねる旅」参加申込書

(お名前) _____

(ご住所) _____

(連絡先 ☎) _____

